

全国学力・学習状況調査結果及び県基礎学力調査結果から



4月に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査（国語・算数）」「県基礎学力調査（社会・理科）」、4年生を対象に「県基礎学力調査（国語・算数）」が実施され、その調査結果が届きました。

そこで、保護者の皆様に、本校の結果について下記の表にてお知らせ致します。尚、ご理解いただいているかとは思いますが、この調査で測る学力は、特定の一部であり、この結果が志賀小学校児童の学力の全てを表すものではありません。

※下記の基準で本校の結果を表しています。
 国平均・県平均との比較(町基準)
 A：上回っている 5%前後
 B：少し上回っている
 C：ほぼ同じである 同程度
 D：少し下回っている
 E：下回っている 5%前後

【6年生】

国語	全国平均正答率 (%)	本校正答率 (%)	算数	全国平均正答率 (%)	本校正答率 (%)
	63.8%	A		66.6%	B
	県平均正答率 (%)	本校正答率 (%)		県平均正答率 (%)	本校正答率 (%)
	72%	C		72%	C
社会	県平均正答率 (%)	本校正答率 (%)	理科	県平均正答率 (%)	本校正答率 (%)
	70.4%	D		63.9%	E

【4年生】

国語	県平均正答率 (%)	本校正答率 (%)	算数	県平均正答率 (%)	本校正答率 (%)
	65.2%	A		72.9%	B

【成果・課題・対策】

○成果

6・4年生ともに、国語・算数で、全国・県平均正答率を上回るか、ほぼ同程度の結果を得ることができました。特に、国語では、良い成果を得ることができました。

□課題

6年生では、社会・理科ともに、県平均を下回りました。基礎基本となる学習内容の定着が不十分であると言えます。

国語・算数の両教科に関しては、6・4年生ともに「根拠を明らかにして書く」「要点を明確にして書く」「複数の事柄や資料を関連させて読み取る」に関連する設問において他と比較すると正答率が低いという現状が見られました

◆対策

課題解決に向けて、主な対策として以下の3点の取組を、今後も全学級で進めていきます。

- ①日々の授業において、計画的に自分の考えや分かったことを書いたり、条件に合わせて説明したりする活動を位置付け、継続的に取り組みます。その際には、学年に応じた手立てを工夫します。
- ②社会や理科では、基本的な学習内容を定着させるために、週末を中心に復習プリントを実施します。授業では、意図的に複数の資料やグラフを扱い、そこから読み取ったり、考えたりしたことを表現する活動を取り入れます。
- ③自学ノートを取り入れた家庭学習の習慣付けをし、学びの定着を図ります。